

編集後記

夏休みに白馬の大雪渓に行きました。終点でバスを降り、いよいよ山登りが始まりました。

なにしろ、家族での登山はこのときが初めてで、中学一年と小学五年の子どもの足がどの程度のもんだか分かりません。でも、多くの人たちの列に入って、おしゃべりしたり、休んだりしながら、子どもたち二人はどんどん先へ進みます。

つい、あんなペースで大丈夫かしら、と心配になります。大人二人はこんなにも疲れてきて遅れ気味なのです。それから、目の前に見える小屋で休憩することに決め、前方を行く二人は引き返して来ました。

お茶を飲みながら話を聞くと、二人は周りの人に「すぐそこが、雪渓だから」と励まされ、目的地までもう一頑張りしようと思っていた矢先呼び戻されたのでした。休憩の後、大人は元気を回復して立ち上がりましたが、子どもたちは、休んだことで緊張が解けたのか疲れがでてしまい、先ほどの元気はかけをひそめてしまいました。

結果として、私がブレイキをかけてしまったようです。最後の登りの間も、子どもたちの元気は回復しませんでした。「山登りは疲れて大変」というのが、下山後の小学五年のNの感想でした。

未知なるものへの強い好奇心に支えられて自分のペースで進む子どもたちを、もつと信ずるべきだったと思います。

(A)

幼児の教育

第九十七巻 第八号

(一九九八年八月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十年八月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二丁目

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

〒〇三―五三九五―一六六一三(営業)

〒〇三―五三九五―一六六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。